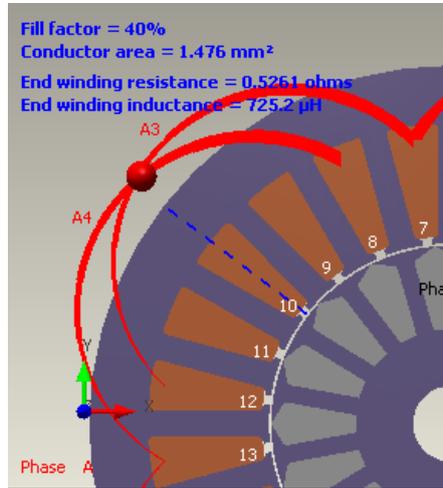


インダクションモータ運動過渡解析



インダクションモータは磁気飽和する領域で動作させることがあり、近似的な分析が簡単には行えません。また、微小なモデル形状の変更による性能の分析は困難になります。

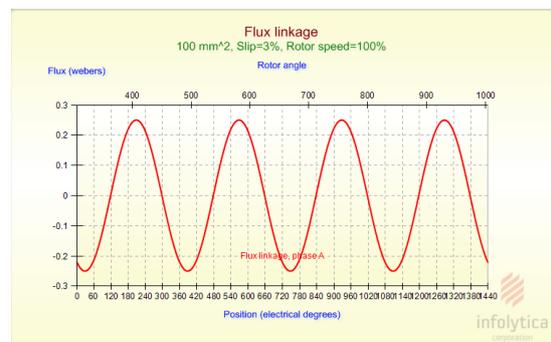
このような場合、設計者は通常有限要素法による解析を行う必要が出てきます。

MotorSolve のインダクションパッケージには有限要素法による運動過渡解析オプションがありますので、ここではその解析例の詳細を紹介いたします。

運動過渡解析オプションは MotorSolve の中でも最も精度の高い解析になります

・ 定常状態の鎖交磁束

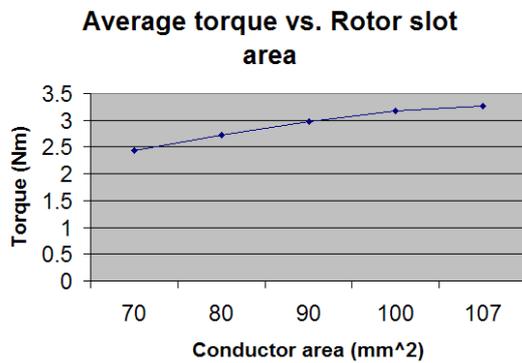
これは 24 スロット - 17 バーのインダクションモータに発生する鎖交磁束です。



・トルクの変動

これはカゴ導体の面積を変動させた時のトルクの変動をグラフ化したものです。

MotorSolve ではこの変更をワンクリックで行えます。



・効率の変動

トルク同様に効率についてもカゴ導体の面積による、変動が簡単にわかります。

